

平成 30 年度第 2 回 少年自然の家運営委員会

日 時 平成 31 年 2 月 19 日 (火)
午前 10 時 30 分
場 所 水戸市少年自然の家小研修室

次 第

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 報 告
 - (1) 平成 30 年度利用状況について
 - (2) 平成 30 年度主催事業について
- 4 協 議
 - (1) 平成 31 年度運営方針（案）について
 - (2) 平成 31 年度主催事業（案）について
- 5 その他
- 6 閉 会

3 報 告

(1) 平成 30 年度利用状況について

ア 滞在日数別利用状況について

(下段：平成 29 年度同期)

実利用者 人数	滞在日数別利用者数				稼動 日数	延利用者数
	1 日	1 泊 2 日	2 泊 3 日	3 泊 4 日 以上		
10,741 人 (10,674)	2,737 人 (2,894)	7,206 人 (7,399)	668 人 (381)	130 人 (0)	171 日 (159)	19,769 人 (18,835)

イ 対象別利用状況について

(下段：平成 29 年度同期)

対 象	幼稚園	小学校	中学校	少年団体	その他	合 計
団体数	19 件 (16)	41 件 (40)	17 件 (13)	55 件 (77)	39 件 (33)	171 件 (179)
人 数	851 人 (808)	3,226 人 (3,094)	1,806 人 (1,713)	3,281 人 (3,807)	1,577 人 (1,252)	10,741 人 (10,674)

ウ 月別利用者数について

(下段：平成 29 年度同期)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
団体数	4 件 (3)	20 件 (20)	23 件 (23)	21 件 (18)	20 件 (23)	28 件 (30)
人数	207 人 (55)	1,773 人 (1,686)	1,558 人 (1,529)	1,048 人 (844)	1,393 人 (1,221)	1,436 人 (1,762)
月	10 月	11 月	12 月	1 月	合 計	
団体数	25 件 (29)	14 件 (16)	12 件 (14)	4 件 (3)	171 件 (179)	
人数	1,761 人 (1,910)	810 人 (1,020)	547 人 (493)	208 人 (154)	10,741 人 (10,674)	

エ 過去 5 年間の年度別利用状況について

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
団体数	160 団体	42 団体	3 団体	201 団体	171 団体
実人数	9,344 人	2,730 人	133 人	11,309 人	10,741 人
延人数	15,750 人	4,390 人	133 人	20,250 人	19,769 人

※ 平成 30 年度については、平成 31 年 1 月 31 日現在です。

(1) 平成 30 年度主催事業について (は新規事業)

行事名	期日	参加人員 (参加人数/集客率)	趣旨
四季の体験学習 ① 田植え	5月12日(土) ～5月13日(日)	募集定員 50 名 男 9 名 女 21 名 計 30 名 ●集客率 60%	緑豊かな少年自然の家で、四季を通して自然に親しみながら米作りを体験する。 ・田植え体験 ・仲間づくり ・自然環境学習・収穫祭
ウォーターロケットプロジェクト (全4回)	① 7月 1日(日) ② 9月 9日(日) ③ 10月28日(日) ④ 11月17日(土)	募集定員 30 名 男 23 名 女 3 名 計 26 名 ●集客率 87%	ロケットの製作から打ち上げ体験まで専任講師が付いて行う。自分が製作したロケットが打ち上がった時の喜びや飛ぶ仕組みを、体験を通して学び宇宙や航空などの科学技術に興味を抱かせる。
サマーキャンプ ～5つの原体験に チャレンジ～	7月27日(金) ～7月29日(日)	募集定員 80 名 男 45 名 女 33 名 計 78 名 ●集客率 98%	5つの原体験というテーマを設定しキャンプ生活や野外活動をとおして、心身を鍛練するとともに、参加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく実践力のある青少年を育てる。
天体観測 (火星大接近) ①② ※抽選実施 応募総数 ①37 家族 ②50 家族	● 7月 31日 (火) ～8月1日(水) ● 8月 1日 (水) ～8月2日(木)	① 男 39 名 女 38 名 計 28/20 家族 ●集客率 140% ② 男 54 名 女 36 名 計 28/20 家族 ●集客率 140%	15年ぶりに地球に大接近する火星を大望遠鏡を使って親子で観察することで、親子のふれあいを深めるとともに、宇宙に対する興味関心を高める。
四季の体験学習 ② 稲刈り	9月16日(日)	男 9 名 女 18 名 計 27 名	・稲刈り体験(刈り方, 束ね方) ・おだかけ体験
四季の体験学習 ③ 脱穀	9月30日(日)	男 8 名 女 19 名 計 27 名	・脱穀体験 ・収穫祭で使用する陶器作り
家族で陶器づくり ①	10月14日(日)	募集定員 20 家族 児童 20 名 家族 22 名 計 18 組 42 名 ●集客率 90%	粘土を手で成型しながら、手ひねりならではのあたたかい風合いの笠間焼づくりと水戸地域の名物料理である「けんちんうどん」作りを親子で体験する。
四季の体験学習 ④ 収穫祭	11月11日(日)	児童 26 名 家族 30 名 計 56 名	・食育活動 ・もみすり体験 ・餅つき体験

行事名	期日	参加人員 (参加人数/集客率)	趣旨
家族で秋の味覚狩り	11月18日(日)	募集定員 20 家族 児童 27 名 家族 26 名 計 19 組 53 名 /20 組 50 名 ●集客率 95%	少年自然の家が立地する山根地区にはたくさんの果樹園が広がる。秋が深まり色付く森林公園周辺をハイキングしながら、果樹園では果樹狩りを行う。また、とれたてのリンゴを使いアップルパイ作りに挑戦するなど、実り豊かな秋を五感で感じてもらう。
ふたご座流星群 2018 ※抽選実施 応募総数 66 家族	12月14日(金) ～12月15日(土)	募集定員 20 家族 児童 49 名 家族 44 名 計 27 組 93 名 ●集客率 135%	三大流星群のひとつであるふたご座流星群は、その中でも最大規模の流星群であり、専任講師の解説を聞きながら、参加者全員で流れ星を観賞することで、天体や宇宙に対する興味関心を引く。
自然素材でリース作り	12月16日(日)	募集定員 20 家族 児童 38 名 家族 33 名 計 28 組 71 名 ●集客率 140%	全隈周辺の自然素材(藤つる等)をふんだんに使ったオリジナルのクリスマスリース作りを通して、親子のふれ合いを深め、親と過ごした時間の思い出作りをする。
親子で陶器づくり ②	1月27日(日)	募集定員 20 家族 児童 23 名 家族 20 名 計 17 組 43 名 ●集客率 85%	粘土を手で成型しながら、手ひねりならではのあたたかい風合いの笠間焼づくりと水戸地域の名物料理である「けんちゃんうどん」作りを親子で体験する。
自然の家マーケット	① 2月9日(土) ② 2月10日(日) ③ 2月16日(土) ④ 2月23日(土) ⑤ 3月3日(日) ※1日2回実施	募集定員各 20 名	野外活動や自然素材を使ったの創作活動など少年自然の家の人気プログラムを子どもたちに気軽に体験してもらい、少年自然の家を身近に感じてもらうとともに子どもたちの活動・創作意欲に応える。
スターハウス in 自然の家 (望遠鏡作り)	2月17日(日)	募集定員 30 名 児童 32 名 保護者 21 名 計 53 名 ●集客率 107%	専門講師の解説を聞きながら満月に近い月や冬の大三角形などの星空を『手作り望遠鏡』で楽しみながら、天体や宇宙に対する興味関心を引く。
週末ネイチャー キャンプ	3月10日(日)	(10組)	親子で自然体験などさまざまな活動に取り組むことで、親子での語らいの場を設け、就学前や進級前で不安を感じている子どもたちに対し親子の絆を深める。

4 協 議

(1) 平成 31 年度運営方針（案）について

ア 運営方針

近年、自然に親しむ機会が減少しつつある子どもたちに、里山の自然の中で野外活動を体験するなどして、情操や社会性を豊かにするとともに、生命や自然を尊重し、環境を大切にすることを育てる。

また、集団生活により、社会生活に必要な規律・友愛・協同・奉仕の精神を育て、未来をリードする心豊かな青少年の育成に努める。

イ 利用促進方策について

子どもたちの心身ともに健やかな成長と水戸市第 6 次総合計画に目標値として掲げる年間利用者数 20,000 人の達成に向けて、地域特性を生かした新たなプログラムを展開するなど、自然体験活動の拠点としての機能充実に努める。

施策の方針と取組の柱

- 現代的な教育課題への対応
 - ①体験活動プログラムの充実
 - ②野外教育の充実
 - ③人間関係づくりなど重要課題への対応
- 山根地区の自然を生かした運営
 - ①立地資源を生かした特色ある事業展開
 - ②地産地消の推進
 - ③天体観測の推進
- 利用校，利用対象の拡大
 - ①周知・利用の拡充
 - ②研修の充実
 - ③受入環境の充実
- 関係団体等との連携強化
 - ①自然体験コーディネート機能の強化
 - ②人的資源の活用

ウ 事業について

利用促進方策に掲げる四つの方針や各方針に掲げる取組の柱、さらには利用者からの要望などを踏まえながら、事業の強化・充実に努めていく。

- 現代的な教育課題への対応
 - ・ライフスキル研修の実施
 - ・試練，チャレンジの機会を与える冒険教育の実施
- 山根地区の自然を生かした運営
 - ・地元農産物の栽培体験や調理体験事業の実施
 - ・地域食材を活用した食事の提供
 - ・天体観測事業の推進
- 利用校，利用対象の拡大
 - ・ホームページ等の充実
 - ・周知範囲の拡大（高等学校，大学等）
- 関係団体等との連携強化
 - ・青少年育成関係団体が行う研修会等の積極的な誘致
 - ・発明クラブなどの各団体とのネットワークの構築

(2) 平成 31 年度主催事業（案）について（ は新規事業）

行事名	期日	趣旨	農業 自然	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
四季の体験学習 （森林公園との 共催）	① 田植え 5月11日（土） ～5月12日（日） ② 草取り 6月18日（日） ③ 稲刈り 9月22日（日） ④ 収穫祭 11月2日（土）	緑豊かな少年自然 の家で、四季を通して 自然に親しみながら 米作りや収穫体験を する。	○		○	○	
ウォーターロケ ットプロジェクト	① 7月7日（日） ② 9月8日（日） ③ 10月27日（日） ④ 11月17日（日）	ロケットの製作から 打ち上げ体験まで専 任講師が付いて行 う。自分が製作した ロケットが打ち上った 時の喜びや飛ぶ仕組 みを、体験を通して学 び宇宙や航空などの 科学技術に興味を抱 かせる。		○		○	○
サマーキャンプ ～夏を楽しもう ～	7月26日（金） ～7月28日（日）	キャンプ生活や野 外活動をとおして、心 身を鍛練するととも に、参加者相互の友情 の輪を広げ、広い心で たくましく実践力の ある青少年を育てる。	○	○		○	
親子で宇宙探索	8月6日（火） ～8月7日（水）	アポロ月面到着 50 周年を記念して、月を 中心とした天体観測 やプラネタリウム観 賞を行い、子どもたち の宇宙への興味や関 心を引く。		○			○
秋の味覚狩り	11月10日（日）	自然観察や果樹狩り をとおして、秋の自然 や味覚を満喫し、親子 の心のふれあいを深め る。	○				○
冬を楽しもう クリスマスリース作り	12月8日（日）	全隈周辺の自然素 材をふんだんに使っ たオリジナルのクリスマ スリース作りを行う。また、他 国の文化を理解する 心情をはぐくむ。		○			○

行事名	期日	趣旨	農業 自然	科学 創作	地域 連携	事業対象	
						子ども	親子
ふたご座流星群 2019	12月14日(土) ～12月15日(日)	三大流星群のひとつであるふたご座流星群は、その中でも最大規模の流星群であり、専任講師の解説を聞きながら、参加者全員で流れ星を観賞することで、天体や宇宙に対する興味関心を引く。	○				○
親子で陶器作り	1月26日(日)	手ひねりならではのあたたかい風合いの笠間焼づくりと郷土料理作りを親子で体験し、親子のふれあいを深める。		○			○
スターハウス in 自然の家	2月8日(土)	人類で初めて望遠鏡を天体に向けたガリレオに習い、自作の望遠鏡作りに挑戦する。また、望遠鏡の操作方法を学び天体観察の活動を通して、壮大な宇宙や星座に対する探究心を高める。	○	○		○	○
ネイチャー・ટેィキャンプ	3月8日(日)	親子の触れ合いを大切にしながら様々な自然体験をコーディネートし、参加者と自然の距離を縮めたり、自然に親しむ心情をはぐくんだりしながら家族の絆を深める。	○				○